

第 17 回放射性医薬品・画像診断薬研究会 第 1 回日本核医学会分科会 放射性薬品科学研究会

開催日 平成 29 年 9 月 9 日 (土) 9 : 00 開場
場所 京都市勧業館「みやこめっせ」 大会議室
〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町 9-1

一般演題の発表時間は、発表 10 分、質疑応答 5 分の計 15 分です

<プログラム>

開会挨拶 9 : 25 ~ 9 : 30

佐治 英郎 (京都大学大学院薬学研究科)

セッション 1

座長 : 上田 真史 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)

A-1 9 : 30 ~ 9 : 45

^{67}Ga 標識 PSMA-ligand の腎集積に対する再吸収阻害の影響

峰岸志奈, 上原知也, 鈴木博元, 荒野 泰
(千葉大学大学院薬学研究院)

A-2 9 : 45 ~ 10 : 00

がん組織における Legumain 酵素活性の *in vivo* イメージングを目的とした放射性ガリウム標識ペプチドの開発

板垣昂之介, 淵上剛志, 石川夏海, 吉田さくら, 中山守雄
(長崎大院医歯薬)

A-3 10 : 00 ~ 10 : 15

炭酸脱水酵素 -IX を標的とした放射性金属薬剤によるがんの
Radiotheranostics

飯國慎平, 小野正博, 渡邊裕之, 佐治英郎
(京大院薬)

A-4 10:15 ~ 10:30

ポリオキサゾリンを基盤とする内用放射線療法用薬剤の開発

佐野紘平^{1,2}, 金田侑子², 高橋勝史¹, 小野正博², 向高弘¹, 佐治英郎²
(¹神戸薬大, ²京大院薬)

A-5 10:30 ~ 10:45

¹⁸F-THK5351 のメラニン含有細胞結合性評価と構造活性相関研究

多胡哲郎¹, 豊原潤¹, 原田龍一², 古本祥三², 岡村信行³, 工藤幸司², 藤ヶ崎純子¹, 村山繁雄¹,
石井賢二¹
(¹東京都健康長寿医療センター, ²東北大学, ³東北医科薬科大学)

【休憩】 10:45 ~ 11:00

Special Lecture

Chair : Masahiro Ono

(Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University)

S-1 11:00 ~ 11:45

Discovery of Flexible Ligands for Imaging of β -Amyloid Plaques

Cui Mengchao
(Key Laboratory of Radiopharmaceuticals, Beijing Normal University)

【昼食】 11:45 ~ 13:30

Work in Progress

座長：久下 裕司（北海道大学アイソトープ総合センター）
豊原 潤 （東京都健康長寿医療センター研究所）

W-1 12：00 ～ 12：15
医薬品開発における分子イメージングの活用

日本メジフィジックス株式会社

W-2 12：15 ～ 12：30
ラジオ HPLC・TLC システムの紹介

株式会社千代田テクノル

W-3 12：30 ～ 12：45
30MeV サイクロトロンによる放射性核種の製造実績

住友重機械工業株式会社

W-4 12：45 ～ 12：55
JFE の製品紹介

JFE エンジニアリング株式会社

W-5 12：55 ～ 13：05
O-18 他安定同位体の紹介

太陽日酸株式会社

セッション 2

座長：清野 泰（福井大学 高エネルギー医学研究センター）

B-1 13：30 ～ 13：45
ルーチン利用を目的とした高品質・高放射能 Cu-64 の効率的製造

大矢智幸，永津弘太郎，鈴木 寿，深田正美，峯岸克行，破入正行，福村利光，張 明栄
（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 標識薬剤開発部）

B-2 13:45 ~ 14:00

^{64/67}Cu イオンのがん診断／治療用薬剤としての有用性の検討

須郷由美¹, 大島康宏¹, 山口藍子², 花岡宏史², 塚田和明³, 橋本和幸³, 川端方子⁴, 佐伯秀也⁴, 永井泰樹¹, 石岡典子¹

(¹量研高崎, ²群馬大院医, ³原子力機構, ⁴千代田テクノル)

B-3 14:00 ~ 14:15

2D、3D 培養細胞実験解析への 3D 線量評価シミュレーションの適用と標的アイソトープ治療における可能性

坂下哲哉¹, 佐藤達彦², 篠原彩花³, 石岡典子¹, 花岡宏史³

(¹量研・放射線生物, ²原子力機構・原子力基礎工, ³群馬大・医)

B-4 14:15 ~ 14:30

At-211 標識 RGD ペプチドの基礎的検討

武田拓也¹, 小川数馬², 三代憲司², 豊嶋厚史³, 吉村 崇⁴, 篠原 厚³, 柴 和弘⁵, 絹谷清剛¹, 小谷明¹

(¹金沢大院医薬保, ²金沢大新学術, ³大阪大院理, ⁴大阪大 RI 総合セ, ⁵金沢大学際セ)

【休憩】 14:30 ~ 14:45

セッション 3

座長：古本 祥三 (東北大学 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター)

C-1 14:45 ~ 15:00

新規 P 糖タンパク質機能イメージング剤 [F-18]MC225 のサル脳における動態：(R)-[C-11]Verapamil との比較

豊原 潤¹, 多胡哲郎¹, 垣内岳春², 大庭弘行², 西山慎吾², 塚田秀夫², Lara Garcia Varela³, David Vallez Garcia³, Ronald Boellaard³, Philip Elsinga³, Gert Luurtsema³

(¹東京都健康長寿医療センター研究所, ²浜松ホトニクス株式会社, ³フローニンゲン大学医療センター)

C-2 15:00 ~ 15:15

ケイ素-ハロゲン交換反応を利用した放射性臭素標識ペプチドの合成研究

山田圭一¹, 渡辺茂樹², 佐々木一郎^{1,2}, 花岡宏史³, 石岡典子²
(¹群馬大院理工, ²量研・量子ビーム, ³群馬大院医)

C-3 15:15 ~ 15:30

ヨードニウムイリドを経由する¹⁸F-リガンドの合成について

藤永雅之¹, 熊田勝志¹, 森 若菜¹, 小川政直^{1,2}, 張 明栄¹
(¹量研・標識薬剤, ²住重加速器サービス(株))

C-4 15:30 ~ 15:45

NEXTA 反応を用いた¹⁸F 標識アミノ酸導入法の開発と PET プローブへの応用

古川武典¹, 木村寛之¹, 有光健治¹, 戸田力也¹, 河嶋秀和¹, 安井裕之¹, 佐治英郎², 瀧 真清³
(¹京都薬大, ²京大院薬, ³電通大)

セッション 4

座長: 小川 数馬 (金沢大学新学術創成研究機構)

D-1 15:45 ~ 16:00

放射性ジルコニウム/ヨウ素標識抗体イメージングによる抗体のがん細胞内
在化量の推定に向けた検討

竹中文章^{1,2}, 檜垣佑輔², 上田真史², 松浦栄次¹, 榎本秀一^{2,3}
(¹岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 産学官連携センター, ²岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
(薬学系), ³理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター)

D-2 16:00 ~ 16:15

マクロファージの極性化が¹⁸F-FMISO と¹²⁵I-BMIPP の集積に及ぼす影響

本村 新¹, 志水陽一¹, 高倉栄男¹, 安井博宣², 東川 桂², 玉木長良³, 久下裕司², 小川美香子¹
(¹北海道大学大学院薬学研究院, ²北海道大学アイソトープ総合センター, ³京都府立医科大学)

D-3 16:15 ~ 16:30

プロベネシド投与によるアミノ酸トレーサーの腫瘍集積向上に関する検討

花岡宏史¹, 山口藍子¹, Yusri Dwi Heryanto¹, 大島康宏², 石岡典子², 対馬義人¹
(¹群馬大学大学院医学系研究科, ²量子科学技術研究開発機構放射線生物応用研究部)

D-4 16:30 ~ 16:45

放射性ヨウ素標識チミジンホスホリラーゼイメージング剤の非アルコール性
脂肪肝炎診断用プローブとしての可能性の検討

東川 桂¹, 堀口紗和子², 海老田曜子¹, 足澤 誠², 小松由紀子¹, 大倉一枝³, 安井博宣¹, 武田宏司², 久下裕司¹

(¹北海道大学アイソトープ総合センター, ²北海道大学薬学部・大学院薬学研究院, ³北海道医療大学薬学部)

閉会挨拶

久下 裕司 (北海道大学アイソトープ総合センター)